

02年度事業費 実績（千円）				03年度事業費 予算（千円）			
事業費の内訳	01 報酬	39		07 報償費	39		
	10 需用費	2		10 需用費	2		
			合 計	41		合 計	41

事務事業名	きらり健康プランの進行管理事業	事務事業No.	10201000322	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成20年3月に桜川市健康増進計画を策定。平成25年度は中間見直しを実施し、本計画の改訂と新たな食育推進計画及び歯科保健計画を一体化させ「きらり健康プラン」をH26年3月に策定した。平成28年4月改正自殺対策基本法が施行、翌年度には自殺対策大綱が閣議決定され、市町村の自殺対策計画策定が義務付けられた。令和元年度に、母子保健計画及び自殺対策計画を加えた第2次桜川市きらり健康プランを策定した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
きらり健康プランの策定により、改めて市の健康課題が明らかにされたので、関係機関や団体、学校等とできるだけ連携や協力を図り推進して欲しい。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目		
改 革 改 善 を 行 う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	
	☒ 結びついている	桜川市第2次総合計画の施策に「健康づくりの推進」が設定されており、健康づくり全般の方向性や目標を定めるきらり健康プランを策定及び推進することは、政策体系と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	
	☒ 妥当である	早期から生活習慣病を予防し、健康の保持増進を図ることで医療費の軽減につながる。
有 効 性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	
	☒ 向上余地がある	計画策定に関する事務については、特に向上の余地はない。計画の進捗管理については、毎年度計画書の主な指標を確認し事業を計画的に展開することで、成果が向上すると思われる。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	
	☒ 影響有	計画に基づいた生活習慣病予防による健康の保持増進事業を進めることは、疾病の一次予防に繋がるものである。事業を休止することで重篤な生活習慣病にいたる市民が増加すれば、経済的にも社会的にも大きな損失を招くことになる。
効 率 性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))	
	(他に手段がある場合) ☒ 具体的な手段、事務事業名	
	☒ 余地がない	健康増進計画・食育推進計画・歯科保健計画・母子保健計画・自殺対策計画の5計画を一体化させ、具体的な健康づくり活動目標を示している計画なので統廃合はできない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	
公 平 性	☒ 削減余地がない	計画の進行管理については予算化していない。第2次計画の策定(平成30年度及び令和元年度の2か年)にあたっては、委員報酬及び委託料を予算化しているが、必要最低限の措置であって削減の余地はない。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
☒ 公正・公平である	市民誰もが自分のライフスタイルに合わせた健康づくりができる計画であるので、公正・公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	アンケート調査結果及びその他、事業実績の集計及びデータ等をもとに現状を分析し、今年の現状を確認しながら、令和3年度の事業計画、予算確保を行う。各分野及びライフステージごとに市民が取り組むべきこととそれを行うための成果指標を設定することで、今後の事業が具体的・計画的に進められるよう努めた。																						
②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり																								
③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																								
④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
☐ 終了 ☒ 継続 ☒ 改革改善を行う ☐ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		(複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☒ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 事業企画においては、プランのどの部分を担うか確認し目標の設定を行う必要がある。プランの修正や目標値の再設定は健康づくり協議会における承認をえて実施していく。また、次期計画策定にむけて、長期目標の再認識も必要であろう。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td><td>向 上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <td>維 持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr> <td>低 下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成 果	向 上		○		維 持			×	低 下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成 果	向 上		○																					
	維 持			×																				
	低 下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果		⑤																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
☒ B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 ☐ B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	☐